

ヘルスケアスタートアップ政策について

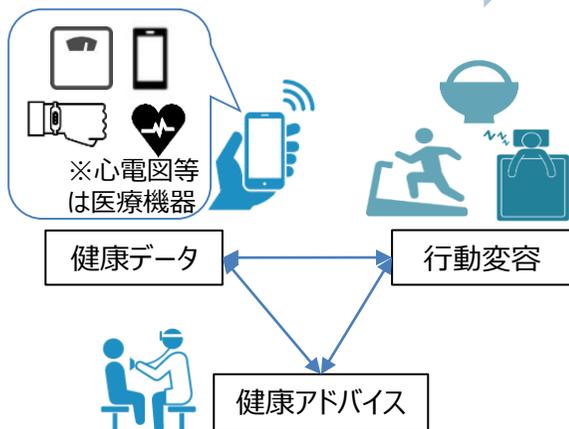
令和6年10月
経済産業省 商務・サービスグループ
ヘルスケア産業課

健康・医療・介護分野における経済産業省の役割

Mission①

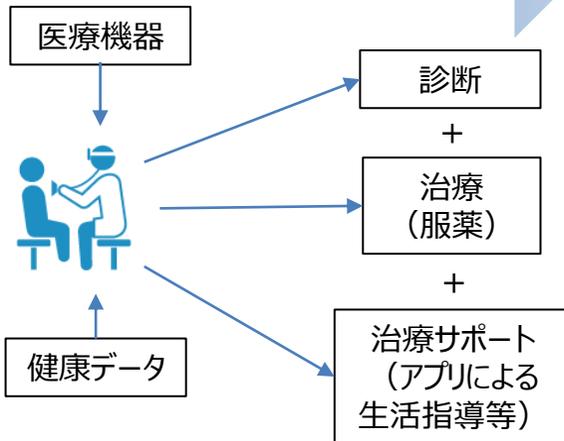
予防・健康づくり

介入方法



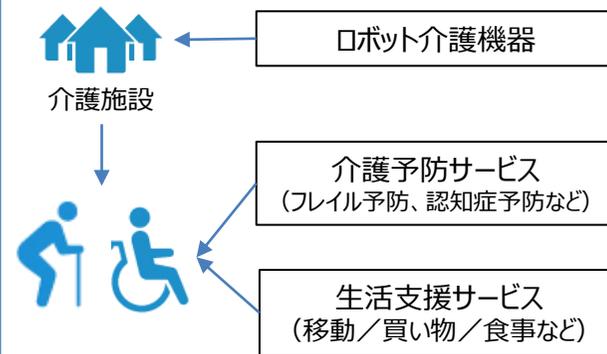
Mission②

医療（診断・治療）



Mission③

介護・生活支援



対象者

健常者

患者

要介護者

取組主体

個人による健康づくり
／保険者等による保健指導

医師による治療

介護者による介護

期待する担い手

ヘルスケア産業にとどまらない、
幅広い生活関連産業

医療機関
医療機器、医薬品メーカー

介護事業者
幅広い生活関連産業

経産省の役割

ヘルスケアサービスの創出
健康経営／PHR等の環境整備

医療機器の開発
医薬品・再生医療製品の開発

ロボット介護機器の開発
保険外サービスの創出

優れたサービス・機器の海外展開

ヘルスケア政策の目指す姿と施策

国民の健康増進

持続可能な社会保障制度構築への貢献

経済成長

- (1) **健康経営の推進**（企業が従業員の健康づくりを「コスト」ではなく「投資」として捉え、人的資本投資の一環として推進）
- (2) **PHR（パーソナルヘルスレコード：健康診断結果や日常の脈拍や歩数のデータ）**を活用した新たなサービスの創出
- (3) **質の高いヘルスケアサービスの創出・振興**
- (4) **介護・認知症**等の地域課題への対応
- (5) **ヘルスケアベンチャー支援**
- (6) **医療・介護・ヘルスケアの国際展開**

目標

1

健康寿命を

2040年に**75歳以上**に

(2016年72歳から3歳増)

※厚生労働省「健康寿命延伸プラン」より

2

公的保険外の
ヘルスケア・介護に係る国内市場を

2050年に**77兆円**に

(2020年24兆円から53兆円増)

3

世界市場のうち日本企業の
医療機器の獲得市場を

2050年に**21兆円**に

(2020年3兆円から18兆円増)

Healthcare Innovation Hub（通称：InnoHub/イノハブ）

- ヘルスケアスタートアップへの支援やイノベーションの創出・活性化を目的に、スタートアップに加えて、企業の新規事業部門など、イノベーションを必要とする多様な団体から幅広く相談を受付。
- ベンチャー企業等の支援者（イノハブアドバイザー）やベンチャー支援を行う同分野の事業会社等（サポーター団体）と連携し、国内外のネットワークを活用して、事業化相談やネットワーク形成を支援。
- 本事業により、ヘルスケア・ライフサイエンス分野のベンチャーエコシステムの構築を目指す。

イノハブサポーター団体：256団体 （2024年3月末時点）

【VC、金融関係】

- ・ デフタ・キャピタル
- ・ 株式会社みずほ銀行 31社

【コンサルティング・商社関係】

- ・ 有限責任 あずさ監査法人
- ・ 伊藤忠商事株式会社 38社

【公的機関・自治体など】

- ・ 東京都 30団体

【業界団体・その他団体】

- ・ LINK-J
- ・ 日本バイオデザイン学会 15団体

【保険関係】

- ・ SOMPOホールディングス株式会社
- ・ 東京海上日動火災株式会社 16社

【大学/医療機関】

- ・ 国立循環器病研究センター
- ・ 国立大学法人東北大学 21団体

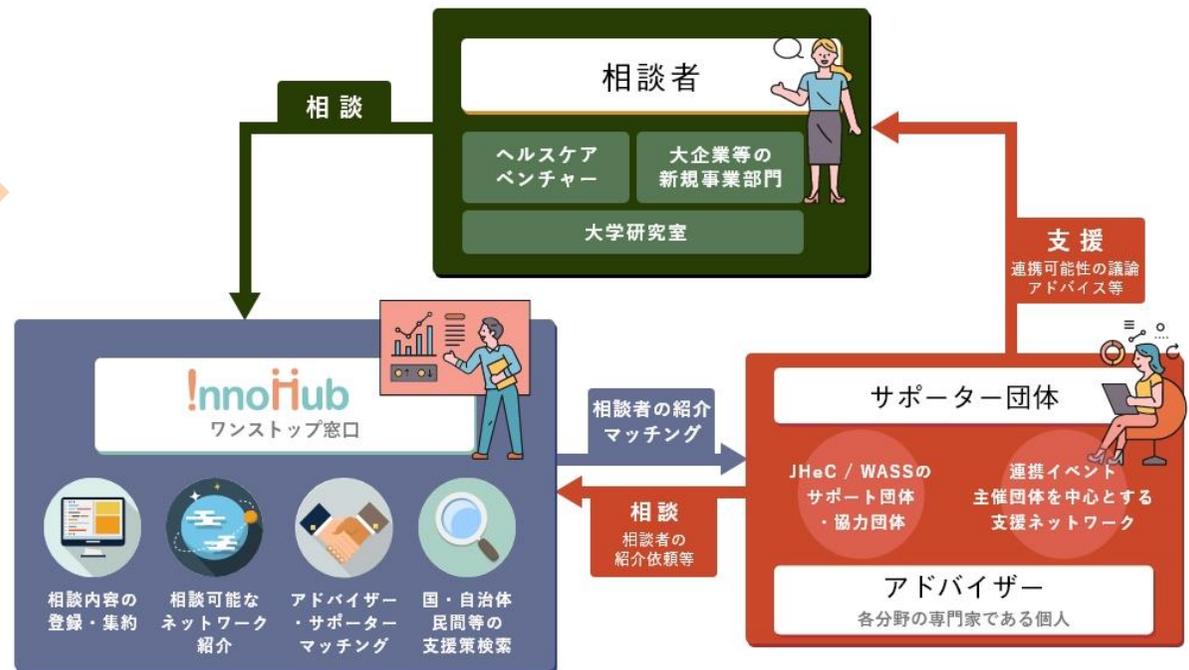
【製薬、医療機器、その他メーカー】

- ・ 帝人ファーマ株式会社 46社

【通信・システム】

- ・ KDDI株式会社 18社

【その他】41社



省庁系ネットワーク

【官民ファンド】

- ・ 株式会社INCJ
- ・ REVIC
- ・ 中小機構
- ・ CJ機構
- ・ NEDO
- ・ AMED 他

【相談窓口、支援ネットワーク】

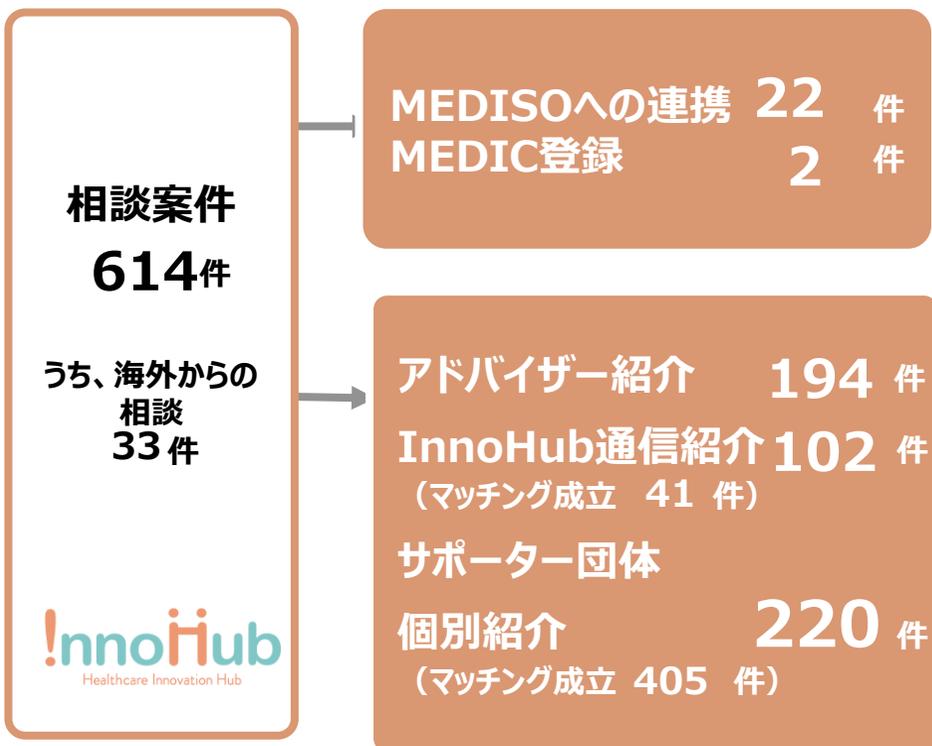
- ・ MEDISO
- ・ MEDIC
- ・ JETRO 他

(参考) InnoHubへの相談実績

- ベンチャー企業等の支援者等（アドバイザー、サポーター団体）と連携し、国内外のネットワークを活用して、**事業化相談やネットワーク形成を支援**（累計614件）。
- JHeCと有機的に連携し、成功事例創出に貢献（2021グランプリとサポーター団体をマッチング）

InnoHubへの累積相談実績

※2024年3月末時点



* : 1件の相談に対して複数のアドバイザーを紹介している場合も1件としてカウント。
 ** : アドバイザー紹介、InnoHub通信紹介、サポーター団体個別紹介は必ずしも独立でないため、これらの件数の累計と、相談者数は一致しない。

InnoHubでの支援事例

- 株式会社シンクロアイズは、カメラとディスプレイを内蔵したスマートグラスを用いたITによる遠隔支援サービスを提供している。本機器の医療教育現場での活用可能性について、**InnoHubアドバイザーである東京医科歯科大学 山本氏に相談**。
- **東京医科歯科大学の耳鼻咽喉科学、肝胆膵外科学、整形外科、救命救急センター、歯学教育システム評価学の5領域**において、臨床教育現場における利用可能性・有用性を検討するための**共同研究**を行った。2023年1月時点で、当該機器20数台を2年間レンタルし多くの学内分野にて試用中。



装着は、ワンステップ！
30秒でZoomに接続！



出典: Vuzix資料より
 ※シンクロアイズは VuzixのM400 (写真右) を使用。写真はイメージです

ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト (JHeC)

- 2016年から2024年まで計 **9回開催**。次回10回目は**2025年の大阪・関西万博に関連する形でグローバルに実施予定**。
- ヘルスケア分野における課題解決に挑戦している優れた個人・団体・企業等の**表彰を通して社会の認知度を上げ**、大企業・ベンチャーキャピタル等との**ビジネスマッチングを促進**することで、それらの**個人・団体・企業等の成長を促す**ことを目的として開催。

ビジネス部門

🏆 最優秀賞

体内で集める第3の幹細胞治療による再生医療の一般化への第一歩：下肢救済（40社より選抜）

【企業名】

バイオチューブ株式会社

【概要】

治療に十分な量の多能性を含む幹細胞を単に皮下に数週間埋植するだけで得ることができる画期的な医療機器の事業化を提案。
治験を開始した下肢救済分野において2025年の薬事申請、2026年の事業開始をめざす。



🏆 優秀賞

- 経血成分を解析して健康状態をみる検査キットの開発 (株式会社asai 浅井しなの氏)
- メタバースでメンタルを整える「MentaRest」 (株式会社MentaRest 飯野航平氏)
- 園児の睡眠を見守る、AI搭載カメラ型午睡チェックシステム「ベビモニ」 (EMC Healthcare株式会社 浦上悟氏)
- 胸部 X 線写真から骨密度を推測する AI 医療機器による、骨粗鬆症診療の革新 (iSurgery 株式会社 佐藤洋一氏)

アイデア部門

※事業化まで至っていないくても、優れたアイデアを表彰するもの

🏆 優秀賞

- がん患者とその家族向けがん治療副作用予測と症状管理および栄養摂取サポート事業 (株式会社DeaLive 牧原正樹氏)
- AYA世代のがんとキャリアの経験談共有サイト (産業能率大学 経営学部 山崎美紗氏)
- 肺がん患者と医師に優しい、「気泡の流動を活用した」内視鏡生検技術の確立 (東京農工大学 関口翔斗氏)



事業の背景と目的

ヘルスケアスタートアップ実装推進拠点構築の背景

- 国内のヘルスケアスタートアップは、技術実証フィールドの不足と、社会実装の進展に課題があり、拠点を起点とした中長期的な支援体制の構築が必要

ヘルスケアスタートアップの現状

ヘルスケア共通の課題

- 日本は世界最高水準の高齢化率を誇り、老化に伴う疾患や生活習慣病への対策が喫緊の課題
- 予防・健康づくり、介護、デジタルサービスを活用した治療的介入、医療業務支援といったヘルスケア領域における新たなサービスの立ち上げが急務

ヘルスケアスタートアップの課題

- 初期的な実証フェーズにおいては、多くのスタートアップが実証フィールドの探索そのものを探りで行っているのが実情
- 技術実証や事業性の実証に留まらず、その先の社会実装が進展しないという問題も顕在化

支援方針

- ヘルスケアスタートアップが提供する製品・サービスの社会実装に向けて、実証面で支援するコーディネーターや関連する実証フィールドで構成される拠点の整備を進める
- スタートアップに対する継続的な支援を通じた社会課題解決を推進していく

ヘルスケアスタートアップ°実装推進拠点構築の目的

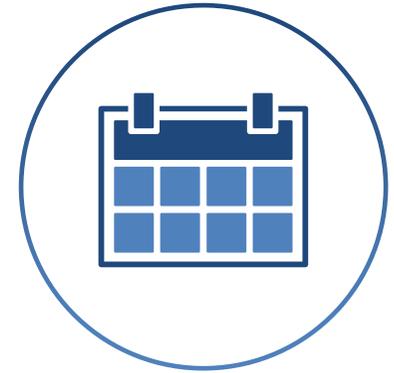
- 我が国の高齢化に伴う健康・医療課題に対処し、国民の健康増進を図る新たなヘルスケアサービスを複数年度の地方拠点の構築の取組を通じて社会に実装する



日本の高齢化に伴う健康・医療・介護課題に対処し、新たなヘルスケアサービスの創出と活性化を支えるエコシステムの確立



地域ごとの特性を活かした実証フィールド（大学、行政機関、医療機関、介護・福祉事業者、民間企業等）との連携を強化し、「顔の見える関係性」と、革新的製品・サービスを受け入れる土壌づくり



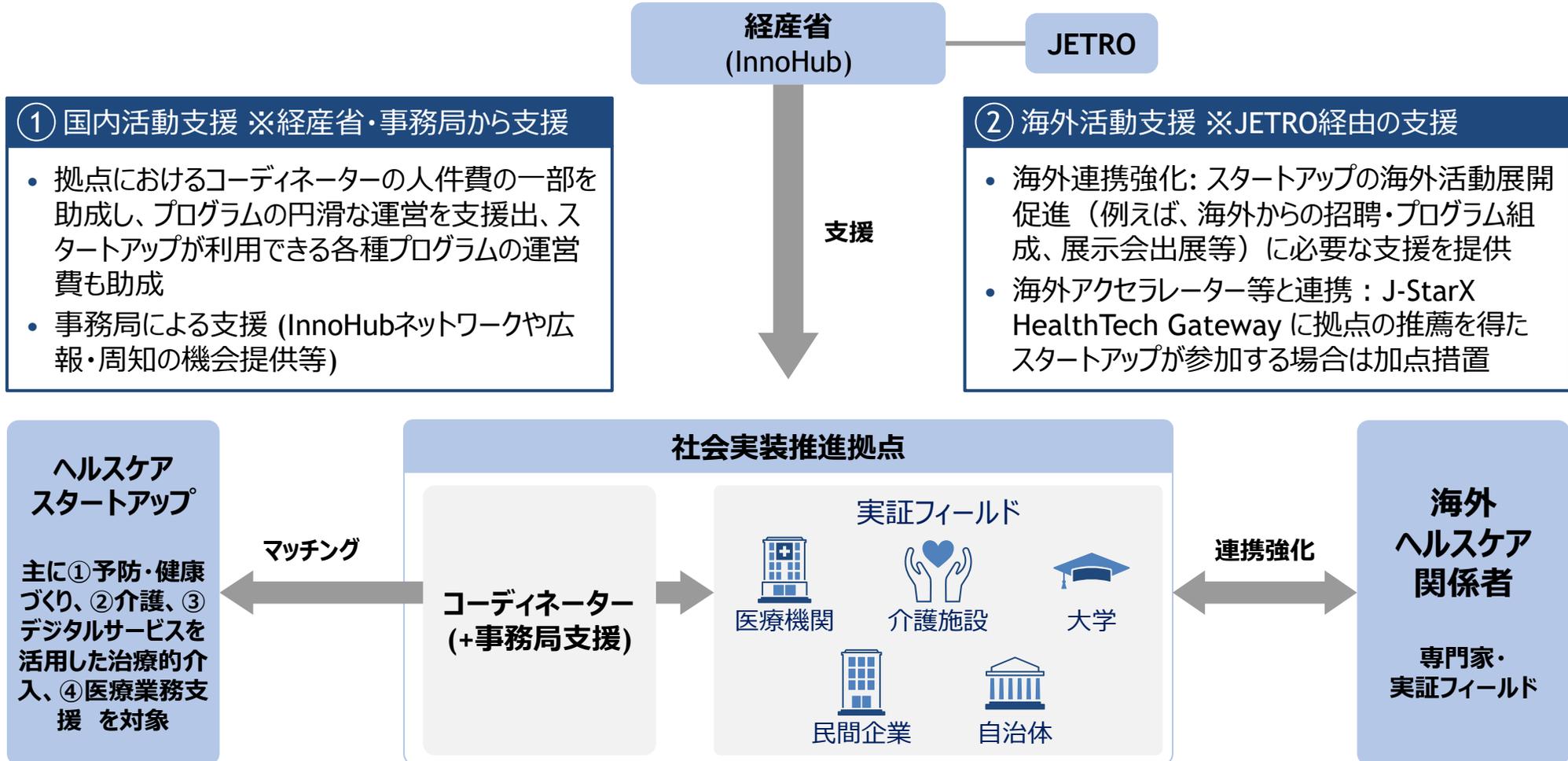
拠点の構築は単年度で完了するものではなく、複数年度の取組が必要であり、本年度検証された内容に従って、来年度以降の活動を見直し・推進していくことを想定

活動内容の詳細

ヘルスケアスタートアップ社会実装推進拠点について

- 拠点への支援として、下記2つを提供を想定

- ① 国内活動支援 (拠点のコーディネーターの person 費、InnoHubネットワーク提供 等)
- ② 海外活動支援 (海外有識者の招聘、海外実証フィールドとの連携 等) ※拠点による選択制



活動内容

- 採択された地域は、今後複数年にわたる社会実装推進拠点の構築を目指し、本年度を準備・実証フェーズと位置付け以下を実施

応募



- 拠点が何を提供できるのか、提供価値のスタートアップへの魅力度について仮説構築
- 成功指標とタイムラインを含めたロードマップを提示

準備期間



- 応募時のロードマップを基に、拠点の方向性や、スタートアップへの提供価値の仮説を検証

ロードマップ アップデート



- 検証結果に基づいたロードマップのアップデート
- 提供価値の見直しや、ヘルスケア領域の特定のステージやカテゴリといった支援対象を明確化

支援活動 展開



- 支援内容、体制、来年度以降の本格構築フェーズの詳細な計画を策定
- 来年度以降はこの計画に基づき、具体的な支援活動を展開

令和6年度：準備・実証フェーズ

来年度以降のスケジュール

- 本年度は拠点選定を行い、準備・実証フェーズとして拠点の立ち上がりを支援。その後2027年度までを本格実施フェーズとして継続支援。尚、2025年度末を目途にレビュー実施 (ステージゲート方式)



拠点自立化

実施主体・実施体制

- 経済産業省より、令和6年度は「ヘルスケア産業基盤行動か推進事業（ヘルスケアビジネス創出推進事業）」の一環として、本事業を事務局が受託している



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

- 本事業の総括および監督を行い、政策的な方向性を提示
- 必要な資源の配分や予算の管理を担当
- 事業全体の進捗状況をモニタリングし、重要な決定

報告 ↑ ↓ 委託

事務局

(令和6年度はBCG)

- 審査プロセスを含む実施体制の運営管理及び支援活動の調整
- 各フェーズの結果を検証し、次年度以降の政策への示唆を抽出
- InnoHubを通じたステークホルダー間の連携促進、ネットワーキング機会提供

報告 ↑ ↓ 委託・実施支援

コンソーシアム

- 拠点地域におけるスタートアップの支援
- 事務局との連携



公募説明会の質疑応答内容や、今後いただく質問の回答は、以下のウェブサイトに掲載いたします。

<https://healthcare-innohub.go.jp>



質問がある際には、上記ウェブサイトを確認した上で、

TOKInnoHub@bcg.comまでご連絡ください

ヘルスケア産業課の取り組み一覧

健康経営ポータルサイト
「ACTION！健康経営」
(健康経営)



<https://kenko-keiei.jp/>

入会はこちら
「PHRサービス事業協会」
(PHR)



<https://phr-s.org>

海外市場の情報を集約
「ヘルスケア国際展開
ウェブサイト」
(国際展開)



<https://healthcare-international.meti.go.jp/>

ベンチャー相談窓口
「Innohub」
(ベンチャー支援)



<https://healthcare-innohub.go.jp/>

介護を「個人の課題」から
「みんなの話題」へ
「OPEN CARE PROJECT」
(介護)



https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/opencareproject/index.html

認知症予防に関する民間
サービスの開発・展開にあ
たっての提言
(認知症)



https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/ninchisho_wg/pdf/2022_002_05_00.pdf

認知症当事者との共生
「オレンジノベーション
プロジェクト」
(認知症)



<https://www.dementia-pr.com/>

予防・健康づくりに関する
医学会による指針
(エビデンス)



<https://healthcare-service.amed.go.jp/>

PFS/SIB関連情報を集約
「ヘルスケア分野における成果連動型
民間委託契約方式 (PFS/SIB)」
(地域産業)



https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/seikarenndougataminnkannitakukeyakuhoushiki.html